

## 医学部

### [教育内容]

- 1) 共通教育科目：国際化に対応するための語学力、医療人としての幅広い教養やコミュニケーション能力、体力の育成を目標に、それぞれ、外国語科目、総合教養科目、保健体育科目を提供します。医学・看護学の主要な概念である「人間」・「健康」・「環境（社会）」に関する基礎的知識として、また、専門教育科目の基盤的教育としても位置づけています。
- 2) 早期臨床医学体験、研究室配属：低学年時からの臨床医学の入門的講義や早期臨床医学体験実習を通じて、医療における個人情報保護や生命倫理の重要性を修得し、早期から医療人としてのプロフェッショナルリズムを育成します。また、研究室配属による研究体験等を通じて、科学的問題に対応する研究マインドを涵養し、研究能力の重要性を学びます。
- 3) 基礎、臨床医学・看護学教育：科学、医療の進歩を踏まえ、医療、看護を学ぶ上での基盤となる基礎医学、基礎看護学、また、臨床医学、臨床看護学、社会医学、社会看護学の知識を低学年から高学年になるに従い段階的に積み上げ、診療や看護に応用できる総合的な医学・看護学の知識の修得を目指します。
- 4) 臨床実習：医療において病歴や診察所見に基づいた臨床推論を行い、また、適切な医療遂行のために必要な EBM (Evidence-Based Medicine) や医療安全・感染対策の知識、チーム医療の重要性を学び、POS (Problem-Oriented System) を用いて、適切な診療録の記載の仕方やプレゼンテーションのやり方を学びます。一方、看護において、人の特性を理解し、多様な場で看護が実践できる基礎的能力を養います。患者への共感的態度、説明・同意に基づいた患者の自己決定権の尊重など、全人的医療を目標とし、医療人としての基盤的素養を育成します。同時に、医師、看護師としての自尊心、向上心、リーダーシップ能力を育みます。

### [教育方法]

- 1) 科目別の系統講義、科目間連携による統合講義、医療安全、感染症に関する病院講習への参加により、基礎、臨床知識の縦断的、横断的な習得と医師、看護師としての基本的知識を修得します。
- 2) 主体的な学習姿勢、能動的学修能力、課題解決能力や実践能力の向上のために、小グループによる問題解決のための PBL (Problem Based Learning) や双方向型授業 (e-learning やポートフォリオ、レポート、ミニツツペーパー) 等の active learning を実践します。
- 3) 研究室配属による論文査読、レポート作成と発表、看護研究における論文作成と研究成果発表により、研究マインドの涵養を目指します。

## 福岡大学 カリキュラム・ポリシー（CP）

---

- 4) 模擬患者を通じた疑似（シュミレーション）医療体験やロールプレイング、早期臨床実習（地域基盤型医療体験、病棟看護実習）の体験実習により、実臨床現場の理解と医療者としての自覚を促進します。
  
- 5) 参加型病棟実習において医療チームの一員として、実際に患者を受け持ち、問診、診察、臨床推論、カルテ記載、症例発表、看護ケアなどの体験により、実践的な医療人の育成を目指します。